

電子情報工学専攻 ICTスペシャリスト育成コース（平成23年度9月入学生（社会人学生）適用）

分類	授 業 科 目	単 位		週 授 業 時 数				担 当 教 員
		必 修	選 択	1 年		2 年		
				10～3月	4～9月	10～3月	4～9月	
I C T ス ペ シ ャ リ ス ト 育 成 コ ー ス コ ア 科 目	プロジェクトマネジメント特論Ⅰ	2			4			中村仁之輔(非常勤講師)
	プロジェクトマネジメント特論Ⅱ	2			4			中村仁之輔(非常勤講師)
	知的財産権特論	2			4			知的財産本部教員
	技術者倫理特論	2			4			福島誠治・藤田欣裕
	I C T 特 別 講 義 Ⅰ		2		(集中)			福島誠治・藤田欣裕・甲斐 博
	I C T 特 別 講 義 Ⅱ		2		(集中)			福島誠治・藤田欣裕 関啓一郎(非常勤講師) 松村 浩(非常勤講師) 杉林 聖(非常勤講師) 保坂 聡(非常勤講師)
	I C T 特 別 講 義 Ⅲ		2		(集中)			川田圭一・(某)
	ソフトウェア設計・開発特論Ⅰ		2			4		阿萬裕久・甲斐 博
	ソフトウェア設計・開発特論Ⅱ		2			(集中)		(某)
	ネットワークシステム特論Ⅰ		2			4		木村秀明(非常勤講師)
	ネットワークシステム特論Ⅱ		2		4			福島誠治・藤田欣裕・甲斐 博
	情報セキュリティ特論		2			(集中)		清水明宏(非常勤講師) 岡本龍明(非常勤講師)
	システム解析特論		2			4		黒田久泰
	ヒューマンコンピューティング特論		2			(集中)		(某)
	組み込みシステム特論		2			4		高橋 寛・樋上喜信
	デジタル通信特論		2			(集中)		榊原勝己(非常勤講師)
デジタル信号処理特論		2			2	2	岡本好弘	
情報通信システム特論		2			2	2	都築伸二	
インテリジェントシステム特論		2		4			木下浩二	
実 習 演 習 科 目	発展的 I C T 総合科目Ⅰ	2			4			教育・学生支援機構教員・福島誠治・藤田欣裕
	発展的 I C T 総合科目Ⅱ	2				4		学年担任教員
	発展的 I C T 総合科目Ⅲ	2				4		学年担任教員
	I C T システム開発実習Ⅰ		1	△1		△1		全教員
	I C T システム開発実習Ⅱ		1	△1		△1		全教員
	I C T システム開発実習Ⅲ		1		△2		△2	全教員
	I C T システム開発実習Ⅳ		1		△2		△2	全教員
	I C T システム開発実習Ⅴ		1		△2		△2	全教員
	I C T システムデザインⅠ	1				6		光永尚志(非常勤講師)・福島誠治・藤田欣裕
I C T システムデザインⅡ	1			6			光永尚志(非常勤講師)・福島誠治・藤田欣裕	
I C T システムデザインⅢ		1				6	光永尚志(非常勤講師)・福島誠治・藤田欣裕	

社会人学生とは、ICTスペシャリスト育成コースの社会人特別選抜で合格し、入学した学生を言う。

ICTスペシャリスト育成コースの修了要件（社会人学生適用）

○必修 16単位

○選択 18単位以上

ICTシステム開発実習Ⅰ・Ⅱは1年前期または2年前期で履修することができる。(△1)

ICTシステム開発実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴは1年後期または2年後期で履修することができる。(△2)

合計 34単位以上を修得し、活動報告書(特定の課題についての研究の成果)の審査および最終試験に合格すること。

備 考

1. 修了必要単位数として、電気電子工学コア科目、情報工学コア科目の授業科目8単位までを修得することができる。
2. 社会人学生は、愛媛大学理工学研究科規則第8条2項に定める「教育方法の特例による履修」が可能である。
3. デジタル信号処理特論、情報通信システム特論は電気電子工学コア科目として開講されている科目と同一である。

愛媛大学大学院学則

第8章課程の修了要件及び学位の授与

(課程の修了要件)

第45条修士課程の修了要件は、大学院に2年(教育学研究科特別支援教育専攻特別支援教育コーディネーター専修にあっては1年)以上在学し、各研究科の定めるところにより30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じ、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。